

# こくふっこ

令和5年度  
R5. 7. 19  
上越市立国府小学校



## バーベキューと夏休み

校長 笹川 隆

7/4(火)・5(水)、6年生61名は、石川県に修学旅行に行ってきました。コロナ禍による規制がある程度緩和されたことにより、子どもたちは2日間の日程を大いに楽しみました。

1日目の夕食は、バーベキューでした。修学旅行でするので、きっといろいろと用意がされていて、ちょっと焼いて、難なく食べることができるものを想像していましたが、さにあらず…。

火を起こすところから始まる、普通のバーベキューをしなければならないことが、会場に到着してから分かりました(よく知らなかったのは私だけだったのかもしれませんが)。用意されていた食材を見ると、野菜や肉を焼いて食べた後、焼きそばをつくれればよいことが分かりました。周囲に街灯は少なく、日没までに作って食べて、片付けまで済まさなくてはなりません。果たして班ごとに夕食づくりはスタートするわけですが、想像通り、調理に必要な火力を得るところから大いに難航します。

子どもたちは、物が燃えるには酸素が必要なこと、風を送れば火勢が強まることを知識としては知っています。調理をするための十分な火力を得るには、木炭をなるべく立体的に組み上げて着火し、よく燃えるよう風上側から、強力にうちわであおがなければなりません。経験のある子は、自分のすべきことを見つけて動けるのですが、何をどうしてよいのか分からない子も多い状態でした。その後、苦労を重ねて、最終的には、どうにかすべての班が焼きそばまでたどり着き、全員がおなか一杯の夕食を食べることができて一安心でしたが。

何でもそうですが、私たちが目の前の課題に立ち向かおうとするとき、まずはこれまでの経験から類推し、こうすればよいだろうという見通しをもって解決に当たっていきます。しかし、仮に知識としてはもっていても、それを実際に使う経験がそこまでに全くなかったとしたら、うまく解決に結び付けていくことは難しいでしょう。

実際にやってみる経験を通して、自分なりの「こういうことなんだ」という実感的な理解を伴って、初めて役立つ知識となり、それが次なる課題の解決のための武器となり、そうした経験の積み重ねが、困難を乗り越える力、よりよく生きていく力に結びついていく、ということになります。

まもなく始まる夏休み。たくさんの経験をする絶好のチャンスです。子どもたちが自分の五感を働かせ、いろいろなことに挑戦する経験を重ねてほしいと願っています。



何とか無事に出来上がってニッコリ

## ＜7月の学校教育活動の様子＞

### 7月10日(月)地域子ども会、防犯集会

「上越市防犯の日」の取組に合わせて、地域子ども会及び防犯集会を行いました。

前半の地域子ども会では、1学期の登下校の様子を振り返ったり、地域の危険個所の確認をしたりしました。また夏休みを前に、楽しく安全に過ごすために家庭で気を付けることについても話し合われました。

後半の防犯集会では、防犯に関するクイズに答えながら、身の安全を守る方法について確認しました。

また、上越警察署スクールサポーターの尾木様からは、不審者などに会った際に取りるべき安全な行動や、危険な場所には近付かないことなど、自分の身を守る方法についてお聞きしました。さらに、交通安全支援員の利根川様からは、交通事故から身を守るための登下校の安全な歩き方についてお聞きしました。

夏休みは学校を離れ家庭や地域で過ごすこととなります。交通事故や不審者被害にあわないためにも、「自分の命は自分で守る」ことのできる子どもたちを育てていきます。2学期のスタートはどの子どもも元気に登校できますよう、ご家庭や地域での見守りのご協力をお願いいたします。

### 各学年の活動から

#### 情報モラルに関する講演会

(7月14日)

～メディアとの正しい関わり方～

上越教育大学の清水雅之先生をお招きして、メディアとの正しい関わり方について学びました。

夏休みは家庭で過ごす時間が長くなります。そんな中、つい、ゲームやYouTubeに夢中になってしまうこともあるかもしれません。ゲームをすることのよさ（リラックスできるなど）もありながらも、長くゲームなどを続けることの悪い面もあることが分かりました。

依存症を防ぎ、健康な生活を過ごすためにも、ぜひご家庭でもメディアに関するルールを再確認してみたいでしょうか。



#### 3年生

#### 校外学習(7月7日)

～クリーンセンター見学～

社会科の学習の一環として、上越市のごみ処理について学ぶため、クリーンセンターの見学を行いました。

見学の中で子どもたちが驚いたのはごみをつかむ大きなクレーンです。次々とごみピットに入れられるごみをつかんで持ち上げる迫力に、子どもたちは大喜びでした。

その後持ち込まれたごみが焼却され処分されるプロセスをじっくりと観察しました。

上越市全体のごみについて、どんな人がどのように処理しているのかを丁寧に学ぶことができました。この学習を機に、子どもたちが自分たちの出すごみについて考えさせて行きたいと思います。



#### 4年生